

平和と戦争

読谷中学校

一年五組

伊良波

文梨

「6月23日」みなさんは、この日が何の日か知っていますか。そう、沖縄戦が終わった日とされています。日本は今から69年ほど前、アメリカと戦争をしていました。沖縄では、激しい地上戦が行われ、多くの人々が犠牲になりました。

でも、これは69年前の話。今の日本は戦争もなければ紛争もなく、平和といえるでしょう。しかし、最近では、政府が集団的自衛権などの憲法を改正しようとする動きが見られます。このままでは、日本がまた戦争をする国になるかもしれません。一方、外国では今も紛争を続けている国が数多く存在します。その紛争地域に住んでいる人はおよそ23億人もいます。これは、世界で3人に1人が紛争に巻き込まれていることとなります。これでは、この世界が平和

だといえませんか。

では、この世界が平和になるにはどうすればいいでしょうか。私は、戦争や紛争がなく
なり、世界中の人が幸せを感じることに本当
の平和だと思います。しかし、この世に完
きな平和がおとずれすることは人間が存在する
限り、不可能だと思います。人間がいると、
憎しみ合い、争いが起きます。しかし、それ
は一人一人が平和を願い、互いを認め合っ
て理解することによって、このような争いはなくなると

私は思いました。こんな気持ちを持つていな
い人がいるから、戦争は起こるのだと思いま
す。なので、私達が平和を願い、互いを認め
合っ、て理解することが平和への第一歩にな
ります。それを実行することが、この世界
を平和な世界にする、私達が簡単にできるこ
との一つではないのでしょうか。それと、そ
れぞれの国の先頭に立つ人がそういって意識
を持つこと、世界の争いは減ると思っし、貧
富の差をなくしたりすることによって、幸せを感じる

人は増えると思います。

あなたは、戦争や紛争のことを忘れてはいませんか。一人一人が平和について考えることで世界の平和に少しぐらいはつながると思います。なので、あなたも平和について考えてみませんか。